

周囲の人々の力

私は名寄市立大学に入学しました。不安と期待を抱きながら新生活を始めたことを懐かしく思いま

す。大学生活では日々の講義に加えて、実習やボランティア活動、セミナーにおける施設見学、アルバイト、一人暮らしといった様々な経験をしました。その中で強く感じたことは、周囲の人々の存在の大きさです。

楽しい事も多くありましたが、壁にぶつかり逃げ出したくなるような場面もありました。特に4年次は就職活動、卒業論文、精神保健福祉士課程の実習が重なり体力的、精神的に辛い時期が続きました。しかし、そのような状況の中でも乗り越えることができたのは、周囲の人々の支えがあったからだと思います。

家族、友人、ゼミナールの担当教員、実習指導の担当教員、実習指導者、就職支援室の職員、アルバイト先の人々などが様々な方面からサポートをしてくださりました。「頑張ったね」「あなたの力だよ」といった声をかけていただきましたが、決して私一人の力ではありません。一人で戦っていたとしたら、挫折していたと思います。

大学の講義において人と環境の交互作用という言葉をよく耳にします。これは個人と場所や人、物などの環境が相互に影響を与え合っている状態を指します。肯定的な影響が与えられれば生活は豊かになる一方で、否定的な影響が与えられれば生活のしづらさが生じます。そのため、日常生活を営むうえでは環境が重要であると考えます。大学生活を通じて周囲の人々をはじめとする環境の重要性を再認識しました。

あと3カ月ほどで卒業を迎えます。周囲の人々への感謝を忘れずに残りの日々を過ごすとともに、自分が大勢の人々に助けていただけたように自身も誰かの力になれるように活躍していきたいです。



社会福祉士国家資格ならばに精神保健福祉士国家資格の取得に向けてさらに学業に励みたいと思います。そして、社会福祉士国家資格の取得に向けてさらに学業に励みたいと思います。そして、社会福祉士国家資格の取得に向けてさらに学業に励みたいと思います。